

# 令和5年度 レクリエーション基礎研修会(子ども編)開催要項

## 1 趣 旨

保育所や児童養護施設、障がい児支援施設等の職員は、子ども一人ひとりの環境の違いや、障がいの有無にかかわらず子どもの心に安心と信頼、自信と希望、自他への愛を育む支援が必要です。

本研修では、遊びの中で、個々の子どもの気持ちを聴いたり、感じることができるコミュニケーションや、子どもの可能性に光をあて、力を引き出すレクリエーション手法、さらには、レクリエーションを通じて、子どもが「自分は大切にされている」という気持ちで満たされ、自分を信じ周りの子どもと暖かなやりとりが交わせるよう、支えるための実践力について学んでいきます。

## 2 主 催

社会福祉法人 茨城県社会福祉協議会

## 3 研修日程及びプログラム内容

別添「日程表」による

## 4 講 師

C o C o L a (カンファダブル・コミュニケーション研究所) 代表 小久保 信幸 氏

## 5 日程・会場

日 時：令和5年6月23日(金) 10時30分～16時30分(受付開始：10時から)

会 場：茨城県青少年会館2階 大研修室 (別添会場地図参照)

水戸市緑町1-1-1 8

## 6 定 員 30名

## 7 受講対象者

保育所(園、認定こども園)、児童養護施設、障がい児支援施設の職員

- ① 原則先着順といたしますが、1法人から複数の申し込みがあった場合は、より多くの法人の方にご参加いただくため、1法人あたりの参加人数を制限させていただきます。
- ② お申し込みが無く当日会場へお越しの場合は、参加をお断りさせていただきます。

## 8 参 加 費 3,000円(資料・材料費)

※ お申込み後、6月8日(金)までに参加決定通知メールを送信いたしますので、メールに記載された「本会指定口座」にお振込みください。

## 9 申込方法

茨城県社会福祉協議会ホームページの本研修会用申込フォームよりお申し込みください。

茨城県社会福祉協議会ホームページ URL : <https://www.ibaraki-welfare.or.jp> の重要情報に掲示しています。

## 10 申込期限 令和5年6月1日(木) 期限厳守

## 11 その他

- ① 当日は、身体を動かす演習を行いますので、動きやすい服装でご参加ください。  
また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスク着用でご参加ください。
- ② 筆記用具および昼食をご持参ください。
- ③ 新型コロナウイルス感染防止により、受講方法が変更になる場合もあります。
- ④ 本研修会参加者にかかる個人情報、本会「個人情報保護に関する方針」に基づき、適切に取り扱うこととしており、他の目的で使用することはありません。
- ⑤ 以下の URL より、PR 動画をご覧ください。  
<レク基礎研修子ども PR ビデオ動画リンク> <https://youtu.be/BAbQWPoK3wo>

## 12 会場案内

### 茨城県青少年会館

水戸 I C から水戸駅方面へ、「偕楽園北口」交差点を右折、車で 15 分

水戸駅北口から笠間方面へ、「大工町 2 丁目」交差点を左折、車で 5 分



### ※ 駐車場のご案内

当館には約 80 台分の無料駐車場がございます。

ただし、満車の場合は、護国神社下の桜山駐車場をご利用ください。(徒歩 10 分)

## 13 問い合わせ先

社会福祉法人茨城県社会福祉協議会 福祉事業部 (担当: 岡崎、吉田)

〒310-8586 水戸市千波町 1918 TEL 029-244-3147

# 日 程 表

時 間	内 容
10:00	受 付
10:30	開 会・オリエンテーション
10:35	講義・演習 <b>テーマ1 「だんだんチャレンジの3つの大事（原理・原則・使いこなし）」</b> ① 遊び込む力は、夢中になれる力（大事その1） ② だんだんチャレンジ体験（遊び込む力を育み可能性を引出すレクの効果を実感） ③ 遊び込む力を育む、だんだんチャレンジの2つで1つの方法(大事その2) ④ 子どもの健やかな育ちのために、だんだん体験を仕掛けよう(大事その3)
12:00	昼食・休憩
13:00	講義・演習【午前の続き】
14:00	講義・演習 <b>テーマ2 「温かやりとり術の5つの大事（原理・原則・技法・使いこなし・応用）」</b> ① 温かやりとり術の根拠の心の仕組み（原理） ② 根拠を踏まえて受容的で応答的で伴走的にやりとり（原則） ③ 温かやりとり術の心構え（技法①）、温かやりとり術のコツ～3つのリアクション～（技法②） ④ 使いこなしは、子どもの心の温度、空気感にあわせながらの、3つのリアクションのサイクル（合わせ技） ⑤ 遊びを上手にを使って、受容的で応答的で伴走的なコミュニケーションを手早く始める。楽しく深める（応用）
16:30	閉 会